

令和7年度 浜松市立三ヶ日中学校 学校評価

比較 そう思う・大体そう思うの合計		生徒				保護者				教員		職員の評価 (生徒の様子を含めて)
		R4	R5	R6	R7	R4	R5	R6	R7	R6	R7	
分かる楽しい授業												
1	わたしは、授業の内容がよく分かる。	86.7	88.3	90.4	87.5	83.3	86.3	88.7	86.2	100.0	100.0	・全体的に落ち着いた雰囲気や授業に取り組むことができています。
2	先生方は、「知りたい」「やってみよう」「できるようになりたい」と思うような授業をしてくれる。	91.7	95.6	94.0	92.4	76.9	80.4	83.9	85.7	100.0	100.0	・授業ではわかる楽しさを大切にし、多くの生徒が前向きに学習に取り組んでいる。
3	勉強が分からないときには、先生方が手助けをしてくれる。	93.8	95.9	93.6	92.8	67.8	71.0	74.7	60.0	100.0	94.7	・今後は家庭への発信も工夫し、学習支援の充実と主体的な学びの向上を図りたい。
学ぶ意欲が盛んな生徒(R7より下線部追加)												
1	わたしは、夢や目標に向かって <u>計画的に</u> 家庭学習を進めている。	52.5	54.2	64.1	73.8	58.4	52.5	57.8	71.0	30.0	42.1	・授業に集中して取り組む生徒は多いが、家庭学習を計画的に進める力には個人差が見られる。
2	わたしは、 <u>夢や目標に向かって</u> 授業に集中して取り組んでいる。	91.7	93.8	93.6	86.7	82.3	81.6	84.8	89.0	90.0	68.4	・主体的に学び続ける姿勢をさらに育てたい。
子ども理解												
1	わたしの学校生活は楽しい。	91.4	97.8	95.4	93.5	89.5	89.4	90.4	89.0	95.0	94.7	・多くの生徒が学校生活を前向きにとらえ、安心してできる環境の中で落ち着いて過ごしている。
2	わたしは、自分の将来に対する夢や希望をもっている。	68.1	75.8	82.9	76.8	68.8	67.8	73.9	71.9	70.0	68.4	・教職員は日常的な声掛けや観察、個別面談を通して一人一人の状況把握に努め、きめ細やかな支援を行っている。
3	先生は、がんばっていることをほめてくれたり、困ったときに助けてくれたりする。(保護者：学校は、生徒一人一人を理解し、大切にしている。)	93.4	96.3	96.1	93.5	82.6	83.1	86.1	87.6	100.0	100.0	・困り感のある生徒にも早期に対応し、安心して学べる環境作りを進めている。
4	わたしのクラスは楽しく、教室は安心してできる場所である。(保護者：学校は、いじめのない学校、集団づくりに取り組んでいる。)	92.9	95.5	95.4	88.2	86.6	87.1	88.3	88.6	100.0	94.7	・将来への夢や希望を描く力には個人差が見られるため、体験活動やキャリア教育を充実させ、自ら考え行動する力を育てていきたい。
5	学校で「命の大切さ」や「社会のきまり」を教えてもらっている。	96.3	98.5	98.6	97.3	91.3	89.8	92.6	90.5	100.0	100.0	
熱中し感動を大切にする生徒												
1	わたしは、三大行事に積極的に取り組んでいる。	97.3	99.3	97.5	97.3	97.1	94.5	95.7	95.2	100.0	100.0	・三大行事や部活動に全力で取り組んでいる。
2	わたしは、部活動に真剣に取り組んでいる。	95.5	96.3	95.7	95.3	93.8	93.7	92.6	91.0	95.0	94.7	・仲間と協力し、達成感や感動を共有している。
自立し共生できる生徒												
1	わたしは、誰にでも思いやりの心で接することができる。	92.5	90.1	95.4	95.4	93.5	94.9	95.2	95.2	95.0	84.2	・思いやりをもって人と関わろうとする生徒が多く、互いを尊重しながら落ち着いた学校生活を送っている。
2	わたしは、あいさつを自分から進んですることができる。	86.9	91.9	97.2	95.1	91.3	90.6	91.3	88.1	75.0	57.9	・挨拶や身なりについては自己評価と教員評価に差が見られ、質の向上が課題である。
3	わたしは、正しい服装や身なりをしている。	97.7	99.3	97.5	98.1	98.1	96.5	97.0	95.7	100.0	73.7	・自立した行動と自己肯定感の向上を目指し、日常を大切にしたい指導を継続していきたい。
4	わたしは、自分の良い点や悪い点を認めながら、前向きに学校生活や家庭生活を送っている。(自己肯定感)	89.1	90.1	92.9	95.8	88.0	85.8	88.7	85.2	90.0	73.7	
開かれた学校												
1	学習や生活などについて、学校の先生などに相談しやすい。	69.4	78.8	84.3	84.4	84.8	86.3	85.2	85.7	100.0	100.0	・学習や生活面で生徒が教員に相談しやすい雰囲気作りが進み、信頼関係の構築が図られている。一方で個別の支援はさらなる充実が課題である。
2	学校は、家庭や地域の方と協力している。	98.1	96.3	95.0	95.8	89.5	89.4	90.0	91.0	100.0	100.0	・家庭、地域との連携は良好であり、情報発信も安定している。
3	学校は、便りやホームページなどで学校の様子をよく伝えている。	98.6	98.5	86.1	94.3	96.0	94.5	86.1	91.4	90.0	94.7	・安全指導や危機対応の意識が高く、生徒も安全に生活できている。
4	学校は、生徒の安全を守るため、避難経路の確認や不審者への対応、体調不良時の対応が十分にできている。	94.3	97.4	96.8	94.3	90.2	93.4	95.7	94.3	100.0	100.0	
キャリア教育(R5より)												
1	学校は、未来をよりよく生きていくための力(み・つ・か・び)を育む教育活動を進めている。		91.6	94.7	95.1		86.6	92.6	91.0	95.0	94.7	・将来を考える姿勢が育ち、生徒の主体性も高まりつつある。

学校の考察・分析

・「わかる楽しい授業」は概ね高水準を維持しており、教員の授業改善の成果が見られる。一方で家庭学習の計画性は低めであり、学習調整能力の育成と家庭との連携強化が今後の課題である。
・学校生活の満足度や部活・行事への積極性は高く、生徒の所属意識や達成感は醸成されている。一方で将来への夢や希望の項目は伸び悩みが見られ、キャリア教育の一層の充実が求められる。
・安全面や地域連携、情報発信に対する評価は安定して高い水準にある。相談しやすい向上傾向にあるが、すべての生徒が安心して声をあげられる体制づくりを目指していく必要がある。

学校関係者評価 (2月4日(水)に開催した学校運営協議会)

・「勉強が分からないときに先生が助けてくれる」の項目について、生徒評価は高い一方で保護者評価が相対的に低い点が話題となった。保護者は授業を直接見る機会が少なく、テストの結果から判断している可能性があり、学習支援の具体的な取組をより丁寧に発信していく必要があるとの意見が出された。
・将来の夢や希望に関する評価がやや低いことについては、生徒が人前で夢を語ることに抵抗感をもつ傾向があるとの指摘があった。一方で、個別面談では具体的に語れる生徒も多く、問い方の工夫や「熱中していること」に着目した聞き方への改善など、キャリア教育の充実を図る必要があるとされた。
・学年ごとの集団の特徴が評価に影響している可能性や、教員と保護者で視点も異なることも確認された。また、「三大行事」は体育大会・合唱コンクール・宿泊行事を指すことが共有された。挨拶については生徒評価が高い一方、教員の評価が低い点について、教員の期待水準が高いことが要因ではないかとの意見も出され、地域での姿も含めた様々な角度からの見取りの必要性が示された。
・いじめ対応については相談しやすい環境整備と地域とのつながりを通じた未然防止の取り組みが重要であるとの意見が示された。

学校関係者評価を受けて

・「分からないときに先生が助けてくれる」という項目において、生徒と保護者の評価に差が見られたことを重く受け止め、授業改善や個別支援の充実に加え、その取組の具体的な様子を保護者へ積極的に発信していく。家庭と連携しながら、学習過程や支援の意図が伝わる情報共有の在り方を工夫する。
・将来の夢や希望に関する評価が伸び悩んでいる点については、問い方や場面設定を工夫し、「夢」という言葉に限定せず「今熱中していること」「大切にしていること」など多面的に自己を見つめられる機会を充実させる。1対1の対話を大切にし、漠然とした思いを具体的な目標へとつなげる支援を継続する。
・挨拶や規範意識については、生徒の自己評価と教員の評価に差があることを踏まえ、教職員の期待水準を共有しつつ、生徒の良さを認め励ます指導を充実させる。学校内だけでなく地域での姿も視野に入れ、多面的な見取りを大切にす。
・三大行事をはじめとする学校行事や部活動に主体的に取り組む姿は本校の強みである。この強みを土台に、達成感や所属意識を学習面や将来設計へと結び付けられるよう、行事と教科・キャリア教育を関連付けた指導の工夫を進める。
・学校関係者評価を真摯に受け止め、学校・家庭・地域が同じ方向を向いて子どもを育てる体制を一層強化する。対話を重ねながら改善を積み重ね、「安心して学び、挑戦できる学校」づくりを継続していく。
・いじめの相談体制の充実と相談しやすい環境作りを進めるとともに、地域との連携を強化し、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に取り組んでいく。